



りとせ相模大野保育園

子育て支援広場 子育て情報 令和7年9月号



朝夕の風に秋の気配が感じられるようになりました。日中はまだ暑さが残りますが、空の高さや虫の声に、少しずつ季節の移ろいを感じます。子どもたちは、公園やお部屋で元気いっぱい身体を動かし、夏の遊びから秋の遊びへと興味を広げています。先月行われた「りとせ夏まつり」では浴衣や甚平姿の子どもたちが元気いっぱいに参加してくれました。始めは緊張した表情でしたが、輪投げやヨーヨー釣りのゲームをするうちに笑顔がはじけ、お友だちや保護者の方と楽しい時間を過ごしていました。「もう一回やりたい」という声もたくさん聞こえ、夏の素敵な思い出になったようです。また季節の変わり目は体調を崩しやすい時期です。水分補給と十分な休養を心掛けながら、元気に過ごしていきたいですね。



秋の手作りおもちゃ



1、松ぼっくりけん玉

紙コップの上部に穴をあけ紐をむすびます。反対端を松ぼっくりに結び付けて完成です。紐の長さは子どもの身長に合わせて調節してください。

2、どんぐりマラカス

空のペットボトルにどんぐりを詰めてキャップをテープで留めれば完成です。どんぐりと一緒にビーズやスパンコールを入れるとカラフルに仕上がります。

3、どんぐりでんでん太鼓

紙皿2枚の間に割り箸をはさみテープで留めます。紙皿の両端に穴をあけ紐を結びます。紐の先にどんぐりを付けて完成です。紙皿の装飾は子どもに任せて好きなシールなどでデコレーションしてオリジナルのでんでん太鼓を作って楽しんでください。



♡ 自分も大切、他の人も大切 ♡

親子の関係づくりと他人との関係づくりは基本的に同じだと思いますか？子どもたちも意思をもった一人の人です。親子でも、他人とでも、お互いを尊重し合うように努力していくと良い関係をつくることができます。人は、元来自分の思い通りに生きていきたいと思っています。でも、他の人とも仲良くしたい・・・そんな矛盾があります。子どもたちも、自分づくりをしながら他の人とのコミュニケーションを取り、矛盾を抱えながら成長していきます。

小さい時の躾は大切です。でも、極端すぎると歪みが出てきます。例えばレストランで「小さいから」「言ってもまだ分からないから」とやりたい放題にしていると・・・自分は大切、周りには大切じゃない、と自己が肥大化し我慢ができません切れやすく他罰性が強くなっていきます。また、「きちんとしないと恥ずかしいでしょ！」など親の思いで命令しすぎると、周りは大切、自分は大切じゃない、と神経質で内的な不自由感が大きくなり傷つきやすいひ弱な心になっていきます。「自由に伸び伸び」と「社会のルールを知る」ことが大切です。「皆が食べているから走らないのよ」落ち着いて食べる姿に「カッコイイ食べ方ね」などと伝えていくと、自分は大切、周りも大切、と自分への信頼感や社会での適応感、情緒の安定、が培われていきます。親子でも、どちらかがいつも我慢する支配と服従ではなく、お互いを尊重し合って丁度良い関係を見つけられると良いですね。



育児相談

子育てをされていて、不安に思うことや誰かに相談してみたいと思う時はありませんか？りとせ相模大野保育園では、育児相談をお受けしています。お気軽にお電話ください。お待ちしております。

〒252-

相模原市南区相模大野3-14-2 4F TEL 042-705-5311